

P1 特集

P2

Campus Archive

キャンパス・アーカイブ 2016年4月～2016年9月までの出来事

P3

Way to go!

クラブ・サークル・学生たちの活躍

P4

University & College News

学部・学科ニュース

P5

平成27年度事業概要報告

P6

My Life My Story



平成28年度 北翔大学・北翔大学短期大学部 保護者懇談会開催

全体説明

平成28年度 北翔大学・北翔大学短期大学部保護者懇談会を開催致しました。

本学において保護者の皆様に、本学の実情、教育運営状況、学生の修学状況、就職状況及び学生生活全般に関しご説明をさせていただく機会を設け、保護者の皆様との相互理解を一層深めることを目的として、毎年、開催しています。

本年度は、8月28日(日)に本学校舎、9月3日(土)に旭川(旭川トヨホテル)、北見(ホテル黒部)、帯広(帯広グランドホテル)、函館(ホテルリソール函館)で、実施致しました。

―教育重点大学―

【大 学】

5つの教育フレイムによる教育の質保証

- ・学びにそなえる入学前教育
- ・基礎をとおのえる基礎・教育科目
- ・専門をふかめる専門科目
- ・自分をひろげる発展科目
- ・将来へつなげる就業力養成科目

【短期大学部】

専門性を集中して磨く2学科5コース制

【学びを深める】

ステップアップを目指す学生に
対して、修士課程の大学院や大学3年次への編入学制度を整え、新たなチャレンジへの道を準備しています。

―地域貢献大学―

【地域連携活動】

赤平市、月形町、奈井江町等と連携した地域貢献活動、各種ボランティア活動、学校、福祉施設等の行事補助などに取り組んでいます。

―学生生活支援―

学生食堂で展開されている健康メニューや、外部コーチ・講習会などの部活動の支援、保健センター・学生相談室・特別サポートルームによる健康面や対人関係等の悩み相談の支援、授業に不安を感じている学生に対して、専属の指導者が行う、学習サポート教室などがあります。

―教職支援―

教職支援説明では、教員をめざす学生への支援体制等について、教職センターから○履修登録・単位修得から教育実習などを経て教育職員免許状の申請までの流れ、○本学独自の「教員採用選考検査対策講座」(願書等の記入、教職検査等に関する二次検査対策)の実施状況、○教員採用選考検査の状況や倍率、本学の合格者数などについてご説明致しました。

また、卒業後も在学時と同様に講座受講が可能であるなど、手厚いフォローを行っていることを案内し、最後に「教員になるという強い意識をもって学習に励むこと」などが大切であるとお子様伝えていただきたいと申し上げました。

―キャリア支援―

キャリア支援説明においては、キャリア支援センターより大卒求人倍率や平成27年度大学・短大卒業生の現況など現在の就職状況をご説明。続いて、本学の就職支援として、学年ごとの就職ガイダンスや1年次から3年次まで必修で行うキャリア教育科目で社会人基礎力を養成すること、インターンシップや履歴書・エントリーシートの書き方や面接・グループディスカッションなどの各種就職活動対策セミナーについてご説明しました。

また、保護者の皆さんにお願いしたいこととして、「とにかく就職しなきゃ」の先にあるものは早期退職・適職探しを長期化させるものは①親の価値観、②自己分析の不足、③企業研究・職業研究の不足、④自信の不足だが、不得意を得意にする醍醐味を体感させることも必要。

個人面談

修学状況、学生生活、進路・就職活動などについて、担当教員と個別に面談を行いました。保護者が日頃抱えている疑問や問題点等について相談されていた方も多く、本学・地方会場合わせて276組にのぼる保護者の皆様に参加していただきました。

保護者の声

参加した保護者の皆様にアンケートにご協力いただきました。大学での子どもの様子がわかり、とても良かったです。卒業後についても聞くことができて助かりました。また、子どもと話し合いたいことも見えてきました。ありがとうございました。個人面談でお話させていただく機会を作っていただくのは、とても安心できることです。これからよりしくお願いします。

建学の精神

「女性の社会的地位の向上を目指し、女性にふさわしい職業的技能と幅広い教養を身につけた、自立できる社会人の育成」

本学の建学の精神は、自立の手段を持たず狭い社会に閉じ込められた女性の、職業的技能と教養を身につける事を旨とするという当時としては「時代を先取りする精神」をもっていました。社会は大きく変わり、今日、女性に限らず一人一人が人間として幅広い教養を身につけて、自律的な社会人を育成して行くことが求められています。

本学は、時代を先取りする精神性を現在に生かし、新たな共生社会の創造を目指し、現代人にふさわしい専門的実践能力を身につけた「時代を切り開く人材」の育成を目指します。

教育理念

「愛と和と英知」

学校法人浅井学園は、人間関係の基本として大切な「愛」と「和」を教育理念に掲げて70年の歴史を刻んできました。近年、大学としてさらに「英知」を加え、確かな知識に裏打ちされた教育の拠点を目指しています。

愛

人間の存在とその価値を認め尊敬して行きたいと願う温かな心情、誠実、真心。地球規模での人類の発展と平和を願い、共生社会に生きる人間の育成。

和

互いの違いを理解したうえで取り結ばれる平和を希求する心、友情、協調性。他者への深い理解と柔軟で寛容な精神の育成。

英知

深遠な道理を探究し、深い知性、実践的な知恵。真の实在や心理を捉えることのできる認識力・実践力の育成。



新入学生が大学生活をスタート
平成28年度入学式
 平成28年4月5日(火)、北翔大学第一体育館にて平成28年度入学式が執り行われました。大学院15名、大学452名、短期大学部138名、編入学生14名の合計619名が、それぞれの夢の現実に向けて新たな第一歩を踏み出しました。式典にあたり西村学長から、皆さんは、18歳からの選挙権が認められ、権利だけでなく一人ひとりが社会に対し責任を持つこととなります。大学では、講義を受講するだけでなく、課外活動にも積極的に参加し、卒業後社会で活躍できるように学園生活を謳歌してほしいとの式辞が新入生に送られました。

1年次入学生

大学院	15名
生涯スポーツ学部 スポーツ教育学科	199名
健康福祉学科	42名
教育文化学部 教育学科	141名
芸術学科	34名
心理カウンセリング学科	36名

短期大学部 ライフデザイン学科	17名
こども学科	121名

編入学生

生涯スポーツ学部	1名
教育文化学部	13名

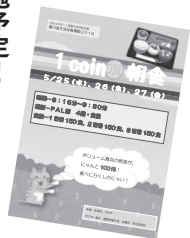


食生活改善運動・春

「1COIN朝食週間」好評の内に終了

毎回大好評の「食生活改善運動(1COIN朝食週間)」を今年も5月25日(水)～5月27日(金)の3日間P.A.L.4階学生食堂で1食100円で毎日150食を提供しました。食生活改善運動は江別市内4大学の共同企画で行われ、活力を必要とする大学生や地域交流の一環として地域自治会の方も参加するなど朝から活気を帯びた3日間でした。

好評につき10月26日(水)～10月28日(金)に第2弾「食生活改善運動・秋」実施予定!



1Coin 朝食週間 1day 5/25



バランス朝食

忙しい朝は、どんぶりでバランス良くパワーアップ!



1日目メニューの栄養価	(Menu)
エネルギー 808 kcal	・もち麦ごはんの親子丼
たんぱく質 36.5g	・大豆とひじきのサラダ
脂質 29.8g	・緑黄色野菜のお味噌汁
塩分 2.9g	・牛乳

1Coin 朝食週間 2day 5/26



野菜たっぷり朝食

朝食にカレーはパワーの源! たっぷり食べて脳も体も活性化!



2日目メニューの栄養価	(Menu)
エネルギー 889 kcal	・たっぷり野菜の朝カレー
たんぱく質 30.2g	・もち麦ごはん又は白飯
脂質 28.1g	・カラフル野菜サラダ
塩分 3.3g	・フルーツ
	・牛乳

1Coin 朝食週間 3day 5/27



おなかすっきり朝食

ヘルシー丼で今日も元気にパワーアップ!



3日目メニューの栄養価	(Menu)
エネルギー 834 kcal	・豆腐と鶏そぼろ丼
たんぱく質 33.3g	・もち麦ごはん又は白飯
脂質 27.7g	・キクイモと人参の金平
塩分 3.4g	・味噌汁
	・牛乳

5月25日～5月27日の3日間で開催された「2016春の食生活改善運動:朝食週間」が無事終了いたしました。早朝から朝食準備にご協力頂きました食堂スタッフの皆様、ありがとうございました。

大盛況ありがとう!

「北翔祭」感動のフィナーレ

8月6日(土)、北翔大学祭「北翔祭 新たな一歩へ」が開催されました。各学科の学びに基づいた企画をはじめ、さまざまな模擬店、ファッションショーや舞台講演、花火大会など盛りだくさんの内容で、たくさんの方の地域の皆様に



もご来場いただきました。ゲストは札幌出身のシンガーソングライターのRihwaさん。伸びやかで明るい歌声に多くの学生が声援を送るなど、この日一番の盛り上がりを見せていました。実行委員会の学生にとっては、チームで主体的・意欲的に取り組むことの大切さなど、貴重な学びを得る機会にもなったようです。

車椅子ソフト米国チームが来学

7月に千歳市で開催された「第1回車椅子ソフトボールワールドチャンピオンカップ」米国、日本、韓国、ナイジェリア。それに先立って米国チームが来学し、競技のデモンストレーションを実施しました。当日は一連の練習方法などをご紹介いただき、その後は「生涯スポーツ(障がい者スポーツ)」を受講する学生との混成チームで模擬試合も行いました。



西村学長とヘッドコーチ(キース・ウォレスさん)の握手

米国チームの障がい者スポーツに対する取り組み方や車椅子の操作方法などを直接聞くことができ、学生にとっては大きな刺激となったようです。「真剣に緊張感を持って競技に取り組めた」という声も聞かれ、得るものが大きい有意義な交流となりました。なお、大会では米国チームと日本チームが優勝を争い、米国チームが第1回のワールドチャンピオンに輝きました。

国際交流講演会を開催しました

6月22日(水)、今年度の国際交流講演会を開催しました。来場者は学生・教職員や一般市民など、100名近くの方々が参加されました。



今年の講演会は、江別出身のソプラノ歌手、渡邊優香さんをお招きし『夢を持ちつづけて実現する』と題して、渡邊さんが声楽家を目指して歩んできた道をお話していただきました。17歳で単身、英国の高校に入学し卒業後は音楽大学の名門 Royal Academy of Music に進学しました。

夏のオープンキャンパスを開催!

7月16日(土)・17日(日)にオープンキャンパスを開催し、北海道内各地から多くの高校生や保護者の方をお迎えしました。

各学科が体験授業を行う「北翔ラボ」や、学食体験の「PALキッチン」、学内をご案内するキャンパスツアー「北翔探検」さらに、在学生が入学の経緯や現在の生活、将来の職業観などについてプレゼンテーションを行うなど、様々なプログラムを実施。オープンキャンパス運営サークルのPAL・C(パルシー)が中心となり、本学の魅力を存分に伝えることができました。

次回は2017年3月12日(日)に開催します。ご家族や身のまわりで本学に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ご参加くださるようお願いいたします。



留学当初はまだ英語力もなく文化や習慣の違いなどで苦労が多かったと想像されますが、不断の努力に加えて持ち前の明るさと常に前向きな姿勢で乗り越えてきたことが聴衆の皆さんに伝わっていました。

7年間の留学生生活を経て帰国後の2013年にはミス・ユニバース・ジャパン北海道代表を務め、現在はソプラノ歌手からさらに活動の幅を広げて、英語通訳、講師、ナレーターなど「声を使って伝える」様々な分野で活躍されています。

種目優勝		
男子		
100m	釜澤拓也(スポーツ教育学科4年、北見柏陽高校出身)	11秒06
110mハードル	川道裕次(スポーツ教育学科4年、江差高校出身)	14秒86
400mリレー	千葉耕輝-釜澤拓也-平川雄斗-会津聖哉	40秒77 大会新
1600mリレー	樋口翔太-釜澤拓也-星 汰-会津聖哉	3分16秒76
走高跳	川道裕次2m13 大会新、北海道学生新記録、今年度日本選手権の標準記録突破	
三段跳	今野勇太(スポーツ教育学科3年、恵庭南高校出身)	14m99
砲丸投	五十嵐宜弘(スポーツ教育学科1年、静内高校出身)	13m65
女子		
100m	若林彩乃(スポーツ教育学科4年、立命館慶祥高校出身)	12秒60
200m	若林彩乃	25秒81
800m	岡部唯香(教育学科3年、恵庭北高校出身)	2分14秒96 大会新
5000m	八重樫春香(スポーツ教育学科3年、札幌静修高校出身)	17分47秒44
10000m	吉田麻美(スポーツ教育学科4年、恵庭南高校出身)	38分20秒15
100mハードル	内海悠季(スポーツ教育学科4年、札幌大谷高校出身)	15秒09
400mリレー	武田美里-西本亜海-若林彩乃-天野小春	47秒35
1600mリレー	野呂真愛-武田美里-天野小春-岡部唯香	3分57秒37
走幅跳	西本亜海(スポーツ教育学科2年、恵庭北高校出身)	5m78
三段跳	吉田亜紗美(スポーツ教育学科3年、旭川西高校出身)	11m27
ハンマー投	佐々木梨奈(スポーツ教育学科1年、旭川大学高校出身)	36m92



5月20日(金)～22日(日)に札幌市厚別公園陸上競技場で開催された「第68回北海道学生陸上競技対校選手権大会」において、陸上競技部が3年連続の男女総合アベック優勝を達成。男女ともにトラックの部、フィールドの部でも総合1位となり、完全優勝を果たしました。そのうち優勝種目は男子7種目、女子11種目でした。優勝種目の選手と標準記録突破者は、9月に埼玉県熊谷市で開催された全日本インカレに出場しました。

陸上競技部が北海道インカレで3年連続男女総合アベック優勝!!



ミニバレーは北海道大樹町で生まれたニュースポーツで、子どもから高齢者まで、楽しく体を動かすことができます。学生たちはミニバレーを通じて多くの人々と交流を深めてきました。

8月30日(火)～9月2日(金)、ミニバレーサークルの学生8人(生涯スポーツ部と教育文化学部の1・2年)が韓国を訪問しました。北海道と韓国・慶尚南道の友好提携が10周年を迎え、これを記念した訪問団の一員に選ばれたのです。

ミニバレーサークル韓国で親善試合



5月6日(金)～8日(日)に、開催された「2016年FIGワールドカップ第3戦ポルトガル大会」において、エアロビックス部の是枝亮さん(生涯スポーツ研究科1年)が男子シングル部門で2位となり、銀メダルを獲得しました。



8月31日(水)には巨済市でバレーボール連合会のメンバーと、9月1日(木)には昌原市の慶南大と親善試合を行いました。

全国から延べ4万8千人がエントリーした「MOS/ACA世界学生大会2016」部門入賞!!

「MOS/ACA」世界学生大会2016部門入賞!!



7月1日(金)～6日(水)に長野県で開催された「第39回全日本大学軟式野球選手権大会」。地方大会を勝ち上がった23チームが集結し、トーナメント方式で熱戦を繰り広げました。本学の軟式野球部は、1回戦で福井工業大を、2回戦で佛教大を破って勝ち進みましたが、3回戦で当たった流通経済大には残念ながら敗れ、ベスト8という成績を収めました。



スポーツ教育学科を卒業した池田裕汰さんが、サッカーのヨーロッパ・モンテネグロリーグ「OFK igalo」とプロ契約を結びました。これまでも多くの有名選手を輩出しているリーグです。

池田さんは8月14日(日)の初戦にて、後半35分からトップ下のポジションで初出場。残念ながらチームは敗れましたが、これからの活躍に期待が高まります。

サッカークラブ卒業生が欧州でプロ契約



8月3日(水)～8日(月)の6日間、災害ボランティアサークルと共催で震災ボランティアツアーを企画し、16名の学生が参加して岩手県釜石市で活動しました。初めて教員の引率がないツアーでした。

平成28年度東日本大震災ボランティアツアーを実施

8月3日(水)～8日(月)の6日間、災害ボランティアサークルと共催で震災ボランティアツアーを企画し、16名の学生が参加して岩手県釜石市で活動しました。初めて教員の引率がないツアーでした。

20歳が輝くドレスデザインコンテストでサツコレ受賞受賞!



7月10日に第4回ドレメフェスティバル2016が開催されました。学生達が企画・演出・モデルなど一から作り上げた迫力のファッションショー「LINK」を披露しました。

手づくりフェスティバルポスター・チラシイラストデザイン最優秀賞受賞!

10月7・8日に開催される手づくりフェスティバルポスター・チラシイラストデザイン最優秀賞受賞!

産学連携授業バラ祭り衣装製作・発表!

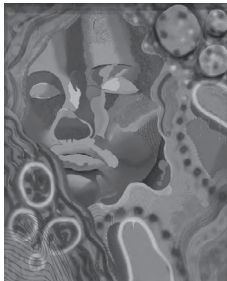


7月10日に第4回ドレメフェスティバル2016が開催されました。学生達が企画・演出・モデルなど一から作り上げた迫力のファッションショー「LINK」を披露しました。



7月10日に第4回ドレメフェスティバル2016が開催されました。学生達が企画・演出・モデルなど一から作り上げた迫力のファッションショー「LINK」を披露しました。

教育文化学部ニュース



第71回全道展で芸術メディア学科の学生2名が入選し、そのうち1名が奨励賞を受賞しました。全道展は歴史のある一般美術公募展で、入賞・入選するには、高いレベルの描画力や表現力が問われます。2人とも絵画ゼミに所属する4年生で、毎日こつこつと描き続け、初めての応募で入選・入賞を果たしました。作品は6月15日(水)から26日(日)まで、札幌市民ギャラリー(中央区南2東6)で展示されました。

タイトル「Feel good」(上) △奨励賞受賞
村田アグネス彩さん(芸術メディア学科4年 静内高校出身 F100号キャンパスにアクリル他
タイトル「作品1」(下) △入選
中山智絵さん(芸術メディア学科4年 北星学園大学附属高校出身 F100号キャンパスに油彩)

芸術科
芸学

全道展で4年生が入賞・入選！



University & college News

学部・学科ニュース

教育文化学部ニュース

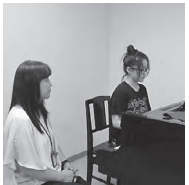
育科
教学

快挙！150名合格！
平成29年度 教員採用候補者
選考一次検査

教育学科では、4つのコースで小学校、特別支援学校、養護教諭、中高(音楽)、幼稚園、保育士と、多くの学生が教員を目指して努力をしています。

6月末に実施された平成29年度公立学校教員採用候補者一次選考では、大学全体で現役・既卒者合計150名(9月1日(木)現在、そのうち教育学科前身の学科では4コース合せて81名(小学校46名、特別支援学校小学校部9名、養護教諭21名、音楽5名)です。この数は例年より非常に多く、学生の努力が報われたことを実感します。

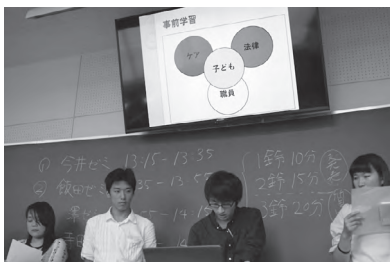
それらの学生を対象に全学をあげて毎日、個人面接、模擬授業、集団討論、実技などの対策講座をいたし、学生は8月初旬の二次選考に臨みました。本学では、卒業生も対策講座に出席が可能ですので、期限付きで教員として働きながら挑戦をした既卒者も、休みを取り一緒に頑張りました。幼稚園や保育園、民間企業についても内定をいただく学生が増えました。どの道を選択しても、個々の学生の希望が叶うように、学科教員は一層の努力を続けます。



理
心
カウ
ン
セ
リ
ン
グ
学

施設見学報告会
対人援助の現場に触れて

2年次学生は、必修科目である「心理学基礎演習Ⅰ」の時間に、対人援助の現場に触れるための施設見学実習として、グループに分かれてそれぞれ教育委員会、精神科病院、児童養護施設、精神科デイケア施設を見学し、その成果を7月に「施設見学報告会」として発表しました。どのグループもパワーポイントなどの報告資料を準備し、現場の生の空気に触れた新鮮な実感を、自分たちの言葉で表現していました。本学科は実際の現場からの学びも重視しており、今回の貴重な体験はこれから一層深まる専門の学びの基盤のひとつとして、必ず生きていくと思います。



生涯スポーツ学部ニュース

スポーツ
育科
教学

「こども体力測定会・走り方教室(赤平市)で開催

5月15日(日)に、赤平市において「こども体力測定会・走り方教室」を開催し、スポーツ教育学科学生が運営・指導ボランティアとして参加しました。本プログラムは、こどもの体力低下が問題となるなか、赤平市におけるこどもの体力向上を目的に、今年で3年目を迎える事業です。約40名の小学生が参加し、学生25名と、本学科の卒業生で赤平市職員として勤務している2名が中心となって実施しました。

走り方教室では、陸上部の学生によるミニハードルやラダーを用いた指導が行われ、参加者は本格的なトレーニングにチャレンジしました。その後の50m走計測では、教えてもらったスタートダッシュを活かして元気に走りきっていました。

走り方教室の後は、体力測定会を実施し、学生は地域住民と触れ合うとともに指導や測定の実践力を身に着けました。



健康福祉
学
科

第1回認知症予防担当職員
研修会を開催しました

健康福祉学科では、7月23日(土)に北方圏学術情報センターにおいて、「認知症になりにくいまちづくり宣言」推進本部主催の第1回認知症予防担当職員研修会を開催し、道内自治体職員を中心に34名の方々が参加しました。

研修会では、札幌医科大学医学部神経内科学講座の下濱俊教授から「認知症の基本的な理解と予防」と題した講演があり、引き続き健康福祉学科の小坂井教授による「軽度認知障害を発見するためのツールと活用」と題した認知機能テストの演習が行われました。その後、小田学科長や吉田准教授により学科の取り組みや学生育成についての紹介がなされ、終了しました。

参加者からは良好な感想が聞かれるなど、各自自治体の取り組みを支援する有意義な研修機会となりました。



短期大学部ニュース

フ
イ
ン
ク
ラ
イ
ザ
ン
グ
学

毎年恒例の「学生交流会」を実施

7月2日(土)に、毎年恒例の1・2年次合同の学生交流会を行いました。第2体育館でミニバレーボールを行った後、昼食はジンギスカンで交流を深めました。

スポーツによる交流は新鮮で、普段は見られないジャージや短パン姿で、華麗にアタックを決める学生に歓声が上がるなど、教室での姿とは違う一面を見ることができました。ミニバレーボールでは、各チームの実力が伯仲しフルセットの試合ばかりとなり、予定していたドッジボールを省略して昼食にしました。

昼食のジンギスカンでは、学生たちの若さ全開の食べっぷりで、用意した食材は殆どきれいに無くなりました。初夏の日の楽しい交流会となりました。

企画を担当した2年生の学生はご苦労様でした。



こ
ど
も
学
科

大学祭こども学科「こどもの国」
みんなで遊ぶ遊びの広場

8月6日(土)、快晴の中、およそ100世帯(各家庭の子どもは1・3人程度)の皆さんが「こどもの国」に来てくださいました。子どもたちの来場数は、少なく見積もっても130人・150人と大盛況となりました。学生は、連日の準備や練習で大変だったと思いますが、当日も朝早くから子どもたちを迎えるための準備をし、楽しそうに笑顔で関わり、とても充実した時間を過ごせたようです。

また、大学農園で昨年から実施している「親子おいも掘り体験」にも、数組の親子が来てくださって「おいも掘り体験」や「ブルーベリー摘み体験」をおこないました。学生にとって、子どもたちとの貴重な関わりを通して、実践的な学びを深める大きな機会となったと実感しました。



学校法人の概要

平成28年5月1日現在 (単位：人)					
設置学校・学部・学科等の名称及び学生・生徒数	学校名・学部・学科名等	入学定員	入学者数	編入定員	卒業者数
北翔大学大学院	人間福祉学研究科	8	4	—	3
	生涯学習学研究科	6	5	—	5
	生涯スポーツ学研究科	6	6	—	7
	北翔大学	440	452	85	356
	生涯スポーツ学部	220	241	25	167
健康福祉学科	スポーツ教育学科	160	199	20	167
	健康福祉学科	60	42	5	—
	教育文化学部	220	211	20	—
	教育学科	120	141	10	—
	芸術学科	50	34	5	—
人間福祉学部	心理カウンセリング学科	50	36	5	—
	人間福祉学部	—	—	15	90
	地域福祉学科	—	—	5	31
	医療福祉学科	—	—	5	8
	福祉心理学科	—	—	5	51
生涯学習システム学部	生涯学習システム学部	—	—	25	99
	芸術メディア学科	—	—	10	40
	学習コーチング学科	—	—	15	59
	北翔大学短期大学部	250	138	—	148
	ライフデザイン学科	50	17	—	26
こども学科	こども学科	140	121	—	122
	専攻科	60	—	—	—
	北海道ドレスメーカー学院	130	53	—	44
	法人合計	840	658	85	563
					2,222

平成28年5月1日現在 (単位：人)			
役員数	常勤	非常勤	計
理事	6	4	10
監事	—	2	2

平成28年5月1日現在 (単位：人)									
教員・職員数	法人部門	北翔大学					北翔大学短期大学部		
		生涯スポーツ学部	教育文化学部	人間福祉学部	生涯学習システム学部	計	ライフデザイン学科	こども学科	計
学校長	—	—	—	1	—	1	—	—	—
副学校長	—	—	—	—	1	1	—	—	—
教授(論)	—	20	22	5	4	51	3	6	9
准教授	—	13	10	1	3	27	2	5	7
講師	—	5	2	1	—	8	1	3	4
助手	—	—	—	1	—	1	—	—	—
本務教員計	—	38	34	9	8	89	6	14	20
兼任講師	—	96	96	9	21	222	39	21	60
本務職員	5	31	20	4	5	60	2	9	11

事業概要報告

1. 教育研究活動に関する事項

北翔大学・北翔大学短期大学部では、改組前の既設学科については、改組により在籍生に不利が生じないよう最大限配慮し、教育課程・行事等をすべて実施した。新設教育課程の連携・整合性をはかり、履修指導を徹底し、また新入学生の教育課程については、旧教育課程と連携した時間割の調整を行い円滑に実施した。

●学生が基礎学力や専門的知識・実践力を身につけられるよう、教員は授業内容のスキルアップに努めるとともに、FD (Faculty Development) 活動を行っていった。また、地域貢献などにも積極的に取り組み、学生の社会人基礎力の養成にも努めている。

●就業力養成については、平成26年度からのキャリア教育科目「キャリアデザインⅠ、Ⅱ」に加え、平成27年度からは「キャリアデザインⅢ」が採用された。教員採用検査対策講座については、教職教養・一般教養は外部に依頼し、面接指導、教科指導法、模擬授業等については本学専任教員及び非常勤講師により実施した。教員採用検査合格者は全体で119人(現用検査合格者は全体で119人)であった。25人、既卒者94人)。(昨年度は合計62人、本学独自調べ)であった。社会福祉士国家試験対策としては、学部・学科実施の受験対策に加え、エクステンションセンターとの連携により試験対策講座を実施した。従来と比較して合格率は向上したが、社会福祉士合格者は現役9人、精神保健福祉士は現役3人であった。大学院人間福祉学研究科臨床心理学専攻では、臨床心理学資格認定試験の筆記形式の一次試験対策と個別面接指導の二次試験対策を実施し、受験資格が発生する平成26年度修了生6

2. 社会交流・地域貢献等に関する事項

●赤平市、芦別市、寿都町、月形町、

人のうち4人、過年度修了生で1人が合格した。

北翔大学大学院
●人間福祉学研究科人間福祉学専攻では、1年次に研究計画発表会を2回、2年次に修士論文中間発表会を2回それぞれ開催し、指導・助言を行った。臨床心理学専攻では、臨床心理センター主催の2回の研修会に院生が参加し、他院生との交流などを通して教育効果の向上に努めた。

●生涯学習システム学部では、社会人の履修にも配慮するために教育課程の体系的に努め、隔年開講科目を設けるなどの改善を図った。

●生涯スポーツ学部研究科では、院生を北方圏生涯スポーツ研究センターの研究活動に参加させ、地域住民の体力測定等の補助を行った。

●基礎となる学部・学科の改組に伴う3研究科の将来構想について検討を開始した。

北海道ドレスメーカー学院
●平成27年度の学科改組で誕生したファッション総合学科は、当初予定のカリキュラム通りに教育が行われた。

●外部団体が主催する各種ワークショップ、ワークショップなどに積極的に参加し、就職先の新開拓を目指すとともに、実践的な人材育成を行った。

【研究活動】
●北方圏学術情報センターと臨床心理センターの連携による研修会をポルトを会場として実施し、臨床心理学専攻の院生も参加したプログラムと設定など教育効果の向上に努めるとともに、一般市民の参加もあり、地域貢献も図られた。北方圏生涯スポーツ学研究科との連携により、地域住民の体力測定の補助など院生を積極的に参加させた。

余市町と包括連携協定を結び、生涯スポーツ学部が主体となり、本学とコラボさつぽろ、NPO法人ソーシャルビジネスセンターの三者連携による介護予防事業「地域まるごと元気アッププログラム」を展開した。また、江別市が中心となつて、4市(赤平・芦別・江別・三笠)4町(栗山・長沼・南郷・由仁)との連携により実施する地方創生事業「学生地域定着広域連携事業」もスタートした。今年度は、栗山町での「健康づくり推進ボランティア」などのプログラムが実施され、参加市町村からの依頼に対応し、学生ボランティアを派遣した。

●高大連携については10校との連携が協定が締結されている。協定校からの学校訪問受け入れ、出前講座への講師派遣、教員研修への講師派遣、アクティブラーニングへの学生派遣など協定校の希望に添って様々な活動を行った。

●地域住民向けの無料の教養講座4件のほか、45講座を開講し、地域住民へ生涯学習の機会を提供した。

3. 学生支援に関する事項

●障がいのある学生への全学的な支援を推進し、学生の円滑な就学に寄与するため、平成28年度から障がい学生支援室を新たに設置することとし、人員・部屋の確保及び規程の整備等を行い、開設準備を整えた。

●エクステンションセンターでは、試験対策、資格取得対策等の24講座を開講し、124名の学生が受講し、MOS (マイクロソフトオフィススペシャリスト)、MFA (メデイク・ファーストエイド)等の就職時に役立つ資格取得を支援した。キャリア支援センターでは、就業力養成のためのキャリア教育科目を開講したほか、就職活動対策セミナーを12月、2月に計4回実施した。また、2月に104社の企業が参加した学内企業研究会を実施し、278名の学生の参加があった。なお、平成27年度の就職率は、大学94.2%、短期大学部98.4%であった。

4. 学生確保に関する事項

●大学・短大の学部・学科の学びの特色、入学後のサポート体制、キャンパスライフ等を説得力ある表現とした大学案内を新たに制作配付し、高校生の本学の入学意識を高めるように努めた。

●北海道ドレスメーカー学院では、新たな入試制度として今年度からAO入試及び指定校推薦入試制度を取り入れた。また、地方支援奨学金制度等の新たな奨学金制度を設けるなどの見直しを行った。

5. 同窓会との連携に関する事項

●F・Mラジオ番組で平成27年6月、8月までの3ヶ月間にわたる本学取材番組を同窓会による経費の支援を受けて実施した。また、オープンキャンパス、奨学金、震災ボランティア活動、奨学金、奨学金交流会、学生の課外活動、卒業生交流会、学生のキャリア等々での支援を受けた。卒業生の直属親族(孫)の入学金を、平成29年度入学生から免除するよう、規程の改正を行った。

6. 運営・管理及び財務の改善及び効率化に関する事項

●平成23年度に制定した5年間の中期計画については平成27年度が最終年度にあたるため、平成27年度9月に発足した新計画検討委員会が検証及び課題の確証を行い、これを基に新しい中期計画を策定することとし、報告した。

●北海道ドレスメーカー学院では、「職業実践専門課程」の平成29年10月中旬に向け、平成28年度に設置する各委員会を準備を行った。また、自己点検報告書を作成し、ホームページに公表した。

7. 点検評価・情報公開に関する事項

●短期大学部第三者評価に向けた自己点検・評価報告書の原稿を集約し、関係部署との調整など具体的な対応を進めた。また、平成26年度に一度実施する自己点検・評価報告書(2012年度・2014年度)も予定通り年度内に完成させた。

●情報の公表については例年通りの情報内容で、教育研究上の基礎的な情報、修学上の情報、財務情報等をホームページに掲載した。また、学園新聞、ベリジに掲載した。また、学園新聞は10月と3月にそれぞれ発行した。保護者懇談会を8月29日に地方会場、9月6日に本学会場で実施し、合計で250組の保護者の出席があった。

8. その他の業務運営に関する事項

●1、3、4号棟及び第2体育館の震災診断を実施した結果、改修・補強等が必要なが判明した。平成27年11月に、耐震改修検討委員会を設置し、耐震改修検討委員会を成先順位をつけて順次耐震改修・補強等を行うこととした。

●老朽施設の改善については、屋内消火栓ホースの取替、非常放送機器の更新、屋上防水シートの更新、外壁タイル剥離箇所の修理等について優先度の高いものから順次実施した。

平成27年度決算概要

学校会計と企業会計の相違点

学校法人とは、学校教育法及び私立学校法の定めにより、私立学校の設置を目的に設置された法人です。学校法人は、設置学校を運営し教育・研究活動を行うことを目的とする公共性の高い法人であり、営利を目的とする企業とは異なります。

企業会計は収益と費用からその経営成績を知ることになりますが、学校法人会計は計算書類によって財務の面から教育・研究活動が円滑に遂行されたか否かを知ることになります。公共性の高い学校法人が、教育・研究活動を継続して行い永続的に存続していくためには、財務状況を正確に把握し、健全な経営をしなければなりません。そのため学校法人の会計処理については、私立学校振興助成法において、国または地方公共団体から補助金の交付を受ける学校法人は「学校法人会計基準」に従い会計処理を行い、計算書類を作成し、公認会計士または監査法人の監査報告書を添付して所轄庁(文部科学省)へ届け出なければならないことになっています。学校法人会計基準では、「資金収支計算書」「活動区分資金収支計算書」「事業活動収支計算書」「貸借対照表」の各計算書類の作成が義務づけられています。

資金収支計算書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

資金収支計算書とは、その年度の法人の諸活動に対応する収入及び支出の全て、並びにその年度における支払資金の流れを明らかにするためのものです。そのため、次年度の収入となる前受金収入や施設設備に関する支出及び借入金返済支出等、資産・負債に係るものについても計上されます。

平成27年度の資金収支は予算額と比して、学生生徒納付金収入が1千4百万円増加、補助金収入が1千5百万円増加、雑収入が1千4百万円増加した一方、暖房用燃料費の値下がり等により教育研究費支出が7千8百万円減少するなどで、翌年度に繰り越す支払資金が前年度より1億7千6百万円増加しました。

収入の部

(単位：千円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	2,406,130	2,419,770	△ 13,640
手数料収入	23,230	21,750	△ 1,480
寄付金収入	5,660	5,698	△ 38
補助金収入	307,010	322,169	△ 15,159
資産売却収入	510	562	△ 52
付随事業等収入	44,990	42,423	2,567
受取利息等収入	13,010	14,439	△ 1,429
雑収入	119,290	133,562	△ 14,272
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	705,110	678,424	26,686
その他の収入	168,656	163,635	5,021
前年度繰越支払資金	△ 819,633	△ 833,657	14,024
収入の部合計	3,548,379	3,548,379	—

支出の部

(単位：千円)

科目	予算	決算	差異
人件費支出	1,696,116	1,697,127	△ 1,011
教育研究用経費支出	707,110	629,014	78,096
管理経費支出	216,290	212,442	3,848
借入金等利息支出	16,230	16,227	3
借入金等返済支出	129,630	129,630	0
施設関係支出	33,313	33,259	54
設備関係支出	48,490	46,446	2,044
資産運用支出	0	0	0
その他の支出	85,435	85,328	107
〔予備費〕	(7,008)	3,992	—
資金支出調整勘定	△ 51,433	△ 56,608	5,175
翌年度繰越支払資金	3,637,170	3,724,289	△ 87,119
支出の部合計	6,522,342	6,517,154	5,188

貸借対照表

(平成28年3月31日)

貸借対照表とは、決算時(年度末)における資産・負債・基本金及び収支差額を把握するもので、法人の財政状態を表しています。

平成27年度末の資産は、前年度に比して建物などの減価償却等で3億1千万円減少となった一方、現預金が1億7千2百万円増加したことにより差し引き1億3千8百万円の減少となりました。負債は、長期借入金の返済などにより1億5千1百万円の減少となりました。総資産から総負債を差し引いた正味財産は140億5千2百万円となり、前年度に比べ1千3百万円の増加となりました。

資産の部

(単位：千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	12,633,006	12,943,040	△ 310,034
有形固定資産	11,073,443	11,367,639	△ 294,196
その他の固定資産	1,559,563	1,575,401	△ 15,838
流動資産	3,853,076	3,681,187	171,889
資産の部合計	16,486,082	16,624,227	△ 138,145

負債・純資産の部

(単位：千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	1,541,346	1,670,258	△ 128,912
流動負債	893,203	915,478	△ 22,275
負債の部合計	2,434,549	2,585,735	△ 151,187
基本金合計	16,838,627	16,774,884	63,743
繰越収支差額	△ 2,787,094	△ 2,736,392	△ 50,702
負債及び純資産の部合計	16,486,082	16,624,227	△ 138,145

事業活動収支計算書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

事業活動収支計算書とは、本業である「教育活動」、財務活動に関する「教育活動外」、資産の売却及び処分に関する「特別」の三つの活動区分ごとの収支の内容及び基本金組入後の均衡の状態を明らかにし経営状況を表すもので、企業会計の損益計算書と類似しています。

平成27年度の事業活動収支は、教育活動及び教育活動外収支を合算した経常収支差額と特別収支差額を合計した基本金組入前当年度収支差額は、1千3百万円のプラスとなりましたが、基本金組入後の当年度収支差額は、約5千1百万円の支出超過となりました。

事業活動収入の部

(単位：千円)

科目	予算	決算	差異
教育活動 学納金	2,406,130	2,419,770	△ 13,640
手数料	23,230	21,750	△ 1,480
寄付金	5,660	5,698	△ 38
経常費等補助金	303,130	318,289	△ 15,159
付随事業収入	44,990	42,423	2,567
雑収入	119,290	133,760	△ 14,470
教育活動計	2,902,430	2,941,690	△ 39,260
教育活動外収支差額	△ 115,379	12,563	△ 127,942
教育活動外 受取利息	13,010	14,256	△ 1,246
その他	0	0	0
教育活動外計	13,010	14,256	△ 1,246
教育活動外収支差額	△ 3,220	△ 1,971	△ 1,249
経常収支差額	△ 118,598	10,593	△ 129,191
特別 資産売却差額	0	0	0
その他	3,880	5,920	△ 2,040
特別計	3,880	5,920	△ 2,040
特別収支差額	408	2,448	△ 2,040

事業活動収入の構成

〔予備費〕

(3,800)	7,200	7,200
---------	-------	-------

基本金組入前当年度収支差額	△ 125,390	13,041	△ 138,431
基本金組入額合計	△ 62,100	△ 63,743	1,643
当年度収支差額	△ 187,490	△ 50,702	△ 136,788
前年度繰越収支差額	△ 2,736,393	△ 2,736,393	0
基本金取崩額	0	0	0
翌年度繰越収支差額	△ 2,923,883	△ 2,787,095	△ 136,788

(参考)

事業活動収入計	2,919,320	2,961,866	△ 42,546
事業活動支出計	3,044,710	2,948,825	95,885

事業活動支出の部

(単位：千円)

科目	予算	決算	差異
教育活動 人件費	1,693,370	1,693,061	309
教育研究経費	1,070,180	983,862	86,318
管理経費	245,800	244,144	1,656
徴収不能額等	8,459	8,060	399
教育活動計	3,017,809	2,929,127	88,682
教育活動外 借入金利息	16,230	16,230	0
その他	0	0	0
教育活動外計	16,230	16,230	0
特別 資産処分差額	3,472	3,472	0
その他	0	0	0
特別計	3,472	3,472	0

事業活動支出の構成

その他…7.4%	借入金利息…0.5%
手数料…0.7%	事業収入…1.4%
寄付金…0.2%	雑収入…4.5%
資産運用収入…0.5%	現物寄付…0.1%
徴収不能額等…0.3%	

管理経費 8.3%

教育研究経費 33.4%

人件費 57.4%

補助金 10.9%

学生生徒等納付金 81.7%

学校法人計算書類の主な科目説明

■資金収支・事業活動収支計算書に共通の科目

科目	説明
学生生徒等納付金	授業料・施設整備費・実験実習料・入学金など
手数料	入学検定料や各種証明書発行手数料など
補助金	国や地方公共団体などから交付される補助金
付随事業・収益事業収入	各種資格取得の講座受講料など
雑収入	上記の各収入に含まれない収入
人件費	専任教職員・非常勤講師・契約職員などに支給する給与や所定福利費・退職引当金など
教育研究経費	教育研究活動や学生の学習支援・課外活動に支出する経費
管理経費	総務・人事・経理業務や学生募集活動など、教育研究活動以外に支出する経費
予備費	予算編成時において予期しない支出に対処するもの

■資金収支計算書のみの科目

科目	説明
前受金収入	翌年度分の授業料・施設整備費・実験実習料などが当年度に納付された収入
施設関係支出	建物・構築物・建設仮勘定など
設備関係支出	教育研究用機器備品・その他の機器備品、図書・車両など

■事業活動収支計算書のみの科目

科目	説明
徴収不能額等	当年度に徴収するべき収入が、徴収不能と判断された金額
基本金組入額	学校法人が計画に基づき、教育研究の維持・充実に継続的に行うために保持する金額

■貸借対照表のみの科目

科目	説明
繰越収支差額	資産の部合計から負債の部合計と基本金合計を控除した金額

Hokusho University

My Life 1 My Story

ひとの数だけ物語がある。

北翔大学短期大学部
ライフデザイン学科 教授
辻 美恵子
Mieko Tsuji

1951年 江別市出身
1973年 北海道女子短期大学専攻科修了、副手として専任
1974年 全道三曲コンクール部門別1位、札幌市民芸術祭奨励賞受賞
2001年 教授に就任
2017年 北翔大学短期大学部を定年退職予定

・所属学会
日本家政学会
服飾文化学会

47年間

私は47年間、この大学に通い続けてきました。高校を卒業後、北翔大学の前身である北海道女子短期大学で2年間を過ごし、その後は専攻科で1年間学んだ後、副手として学校に残り、教員の道を歩みはじめました。そして今年度いっぱい定年退職を迎えます。振り返ってみると、本当にあっという間の教員生活でした。

思い出す品々



私の研究室は、長い教員生活で出会った学生たちが置いていった品々であふれています。たとえばロボットをモチーフにしたブローチなど。もともと自分で集めていたのですが、学生から「この子も仲間に入れてあげて」とプレゼントされたものが混ざっています。

教員としての喜び

教員として多くの喜びを感じてきましたが、とくに学生たちが学びの成果を発表する「学外発表会」には素晴らしい感動があります。入学当初はまったく作品づくりができなかった学生が、ウェディングドレスなどを披露する姿を見ると、大きな成長を感じます。発表を終えた後は学生も泣いています。私もほろっときますね。

手芸と箏

日常でも、学生と一緒に何かに取り組むことに喜びを感じながら過ごしてきました。今はパラグアイの伝統レース「ニヤンドウティ」を製作しています。世界にはさまざまな手法のレースがありますが、これは私も手がけたことがなかったで、学生と情報交換をしなが作業を進めています。

私は幼稚園のころから自分のソーイングセットを持っていて、ものづくりに夢中になっていました。また、箏を6歳から始めています。冒頭で教員になった経緯を話しましたが、実は専攻科時代は箏の活動も波に乗りはじめた時期だったので、修了後は本格的にそちらの道へ進もうと決めていました。副手にならないうと声をかけていた。だいたいの断りしているんです。それなのに、どうして私は今ここに

学生と共に感謝

時の流れが早く進んでいくことを30歳のころにすでに感じていました。当時の学生に「30代なんてすぐだよ」と伝えたら、「私たちは30代になんてならないもん」って笑って返されたんです。その子たちが30歳になったとき、「私たちもなっ



北海道月形高等学校と 北見商科高等専修学校の 生徒が本学を見学

本学と高大連携協定を締結している北海道月形高等学校の2年生38名と北見商科高等専修学校の1年生63名がそれぞれ5月11日(水)、5月13日(金)に本学に施設見学へ来てくれました。

当日は、西村学長と佐藤(克)地域連携センター長からのご説明があったのち、複数の講義の中から興味のある講義に参加してもらった。講義見学・模擬授業を行いました。難しそうにしている顔も見受けられましたが、将来を考える貴重な体験となったのではないのでしょうか。

次に構内の施設見学では本学の学生が誘導を行ってくれましたが、みなさん、図書館や各教室の広さに大変驚かれていたり、専門教室に興味を示されていたりしました。最後に学長推薦メニューなどの学食体験です。「とっても美味い!」と大変好評をいただきました。

『懐かしい昭和の 写真展』を 開催しました。

8月6日(土)、図書館1階ライニング・コモンズで資料展示「こんな本も図書館にありました…大学祭スペシャル」と「懐かしい昭和の写真展」を同時開催しました。北翔祭の特別企画とした今回のテーマは「暮らしの手帖」と昭和放送中のNHK連続テレビ小説「とと姉ちゃん」を取り上げ、ヒロインが創刊した雑誌のモデル「暮らしの手帖」と時代の変遷を書籍と写真でつづりました。

花森安治(ドラマでは花山伊佐次)のイラストが表紙を飾った創刊号から第二世紀第53号までのほか、暮らしの手帖社の出版本、昭和の日本を記録した写真集など蔵書56冊と、昭和11(1936)年から平成元(1989)年までに国内で撮影された写真81枚を展示しました。大学祭を訪れた市民を中心に94



北海道室蘭東翔高等学校の 生徒が本学を見学

本学と高大連携協定を締結している北海道室蘭東翔高等学校の1年生70名が6月23日(木)に本学に施設見学へ来てくれました。

最初に、北海道室蘭東翔高等学校の卒業生で本学短期大学部ライフデザイン学科に在籍する千葉茜さん(2年)から、大学・短大進学へのアドバイスや学生生活などについてお話をいただきました。卒業後の自分を考えることができたでしょうか?

次に、2班に分かれての体験授業です。体験授業①は「介護の基



人の入場者が、戦前・戦中・戦後のファッションや暮らしの移り変わりをたどりました。

高大連携ニュース新着情報

北翔大学 寄付金募集のご案内

本学では、このところの経済不況により修学の継続が困難な学生が増加しており、学生への支援とあわせて、良質な教育環境を今後も維持していくために、寄付金を募集しています。ご支援を賜りました寄付金は有効に活用させていただきます。有能な人材の輩出、社会に役立つ研究成果を通して、広く社会に還元し、貢献してまいります。ご寄付をいただいた金額に税制上の優遇措置を受けることができますので、企業等法人及び個人の皆さまのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



【寄付金 募集期間】
平成31年5月まで
(常時受入れさせていただきます)

【お問い合わせ】
総務部総務課まで
詳細は本学ホームページ

<http://www.hokusho-u.ac.jp>
をご覧ください。

2016年10月～2017年3月 [共通行事予定]		
2016	10月	22日(土) 大学院1期入学試験 学内公開日 23日(日) 大学院1期入学試験 (7号棟・PAL棟立入禁止)
	11月	19日(土) 推薦入学、社会人・帰国子女特別選抜入学試験 学内公開日 (全構内立入禁止) 20日(日) 推薦入学、社会人・帰国子女特別選抜入学試験 (全構内立入禁止)
	12月	2日(金) 第2期編入学試験 学内公開日 3日(土) 第2期編入学試験 (7号棟・PAL棟立入禁止) 29日(木) 学校閉鎖 (～1/3まで) 冬季休業日 (～1/5)
	1月	10日(火) 指定休日 (9/22の振替休日) 14日(土) 大学入試センター試験 (全構内立入禁止) 15日(日) 大学入試センター試験 (全構内立入禁止) 28日(土) 国家試験予定 (関係者以外学内立入禁止) 29日(日) 国家試験予定 (関係者以外学内立入禁止)
2017	2月	4日(土) A日程・編入学3期・大学院2期入学試験 学内公開日 (全構内立入禁止) 5日(日) A日程・編入学3期・大学院2期入学試験 (全構内立入禁止) 19日(日) 大学見学会 (A日程・センター試験A方式合格者)
	3月	3日(金) 平成29年度聴講生・科目等履修生・研究生願書締切 4日(土) B日程・編入学4期入学試験 学内公開日 (全構内立入禁止) 5日(日) B日程・編入学4期入学試験 (全構内立入禁止) 12日(日) オープンキャンパス 17日(金) 学位記授与式 (11:00)